



2021年8月3日『朝礼時法話～報告事項』

法話概略【お盆のお墓参りで出会う】

今年もお盆がやってきます。墓参りや迎え火・送り火を行う地域行事もあります。コロナ禍で、遠方にいるお身内も中々墓参りに来れず…というところも少なくないと思います。

これは、15年も前の情報になりますが、盛岡少年院の署長さんが教えて下さったその時のお話しの中にこのような内容があった事を思い出します。

『現在、少年院はどこも定員オーバーという状況になっています。実は、少年院に来る9割の少年たちは、家族に連れられて墓参りや仏事に行った経験が一度もないという統計が出ているんですよ。』

ご先祖や先に往ってしまった大切な人に手を合わせる墓参りや仏事の機会は、無意識にも自分以外の他の人や環境に対して頭を下げる習慣が備わり、他者を労ったり、傷つけまいとする心が自然に養われるのではないのでしょうか。

今日も天気が良いので星空がキレイに見えますと思いますが、星空を観てキレイと思える日もあれば、何とも思えない日だってある。その時の心理状態で、同じものを観ているのに全然違う景色に見えてしまうのが私たち人間です。

さて、この星空は何百年前～何千年前という過去のものですが、その過去のものを観て現代に居る私たちは時に感動したり、時に涙したりしているわけです。とても不思議なことです。

実は仏事も墓参りも、過去に別れた方々に向き合っ手て手を合わせる場面ではありますが、星空を仰いで心が揺り動かされると同じように、過去に見送った方々を毎年拜んでいるように居ながら、何か以前とは違う感情が沸き立ってくるのだってあります。例えば、自分の亡くなった親の年齢になってみたら、ようやく親の言っていたことが分かる…というような事とも類似していて、時間を掛けて過去に往ってしまった大切な人と出会い直していくと、また違う感性を与えられるかのような事も起こるものです。

過去のお参りの時とも比べる必要のない、今年の私自身が感じ得たものが大切であり、過去となってしまった事から、今日の私に光りを当ててもらえるような感情が起こるのもお盆なのかも知れません。お盆と言う特別な行事の中で、今年も皆さんにとっての大切な墓参りであったりお盆の仏事が勤まります事を願っております。大切にお迎えください。

盆踊りに関連する駐車について

6日の午後に盆踊りを予定しております。苑庭の駐車は『5～6日は不可』となります。**臨時駐車場**としては、**後ろの別宅の所・裏通りの雪捨て場・元印刷屋様の駐車場**に停めて下さい。尚、**早番勤務の車に限り、苑庭一番奥の一行には駐車して構いません**ので、ご確認下さい。〔詳細は別紙『光寿苑盆踊り仮駐車場』参照〕

【光寿会理事長】